

IASB会議報告 (11 / 15 ~ 11 / 18): 要旨

1 . 国際会計基準審議会 (I A S B) の定例会議が、2005年11月15日から18日までの4日間、ロンドンのIASB本部で開催された。会議には、審議会メンバー13名が出席した (ブルンズ氏は欠席) 。

2 . 今回の会議での検討事項は次の通り。

企業結合 (円卓会議の結果報告)

業績報告 (2 計算書方式の導入の決定)

連結及びSPE (連結対象とすべきかどうかを判断しなければならない場合の追加開示 - 連結しなかった場合にも判断の根拠の開示を行なう)

米国会計基準との短期統合化

(a) 借入費用の資産化(I A S 第 2 3 号とS F A S 第 3 4 号との会計処理の統合化を図るためにそれぞれの基準に手を加えることが必要とされる項目の棚卸)

(b) セグメント (タイトルを「Operating Segment」に変更)

(c) EPS (2005年9月に公開されたFASBのEPSに関する公開草案における金庫株方式の改訂等)

SME 会計基準 (認識及び測定における簡素化を検討すべき項目について)

テクニカル・コレクション (テクニカル・コレクションという概念の導入を断念。これに代えて、現行のIASBの手続に則って30日の公開期間による基準の改訂を行う。)

I F R I C (I A S 第 2 9 号及びI A S 第 3 4 号)

3 . 教育セッションでは、次の項目が取り上げられた。

FASBが進めている公正価値測定プロジェクトについてのFASBスタッフによる説明

保険会計 (再保険の実態についての専門家による説明)

以 上